

東北地方太平洋沖地震を受けた九州地方整備局の取り組み（第11報）

平成23年3月14日 17:00現在

1. 概要

【九州管内における被害状況について】

本日、一部未完了であった港湾施設（下関市）の確認が終わり、津波を受けての九州管内における全ての施設点検の結果、直轄河川、直轄国道および港湾施設等における被害は確認されませんでした。

【TEC-FORCE等の派遣について】

九州地方整備局は、「東北地方太平洋沖地震」の発生に伴い緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）先陣を派遣したところですが、本日（3月14日）下記のとおり第5陣を新たに派遣しました。

九州地方整備局災害対策本部は、注意体制 を解除。（応援本部については体制を継続中）

○本部体制履歴

- ・ 3/11 14:46 本部注意体制
- ・ 3/11 14:46 応援本部設置
- ・ 3/11 15:30 本部警戒体制
- ・ 3/12 20:50 本部注意体制
- ・ 3/14 15:00 本部注意体制、解除

【道路】 直轄国道については、現在のところ、被害は確認されていない。

3/11 18:00	通行止め18箇所（国管理7箇所）（県管理11箇所）
3/12 1:10	通行止め15箇所（国管理4箇所）（県管理11箇所）
3/12 14:00	通行止め14箇所（国管理3箇所）（県管理11箇所）
3/12 15:00	通行止め13箇所（国管理2箇所）（県管理11箇所）
3/12 16:00	通行止め5箇所（国管理2箇所）（県管理3箇所）
3/12 20:40	通行止め3箇所（国管理0箇所）（県管理3箇所）
3/13時点	通行止め箇所なし

【河川】

直轄河川については、津波に備え、筑後川をはじめとする19河川の計104施設（樋門樋管等）において、状況に応じた施設操作等の対応を行いました。

【港湾】

3/11 18:00	九州地方整備局所管の港湾については、津波警報解除後に点検実施予定。
3/13 11:30	九州地方整備局所管の港湾については、被災なし。（下関市以外）
<u>3/14 12:15</u>	<u>九州地方整備局所管の港湾については、被災なし。</u>

【TEC-FORCE】

- | | | |
|------|-------|--|
| 3/12 | 15:30 | 「東北地方太平洋沖地震」の発生に伴い、被災箇所の迅速な復旧及び安全確保を支援するため、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の隊員4班（19名）を被災地に向けて派遣（河川2班、道路2班） |
| 3/12 | 17:30 | 第2陣として、隊員1班(4名)を派遣(港湾1班) |
| 3/13 | 11:00 | 第3陣として、隊員1班(2名)を派遣(情報通信1班) |
| 3/13 | 13:30 | 第4陣として、隊員1班(4名)を派遣(港湾1班) |
| 3/14 | 10:10 | 第5陣として、隊員1班(4名)を派遣(港湾1班) |

【その他】

- ・ 3月12日12時45分、九州地方整備局保有船舶「海翔丸」が物資輸送のため東京湾沖に向けて門司港を出航しました。
- ・ 3月12日15時00分、応援車両として待機支援車1台を派遣しました。
- ・ 3月13日10時30分、応援車両として排水ポンプ車2台を派遣しました。
- ・ 3月13日10時45分、応援車両として排水ポンプ車4台を派遣しました。
- ・ 3月13日12時20分、応援車両として待機支援車1台、衛生通信車1台派遣しました。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部
企画部 企画課長補佐 本田 卓
電話:092-414-7301(本部直通)
FAX:092-481-9210(本部直通)